高等学校教育の推進

令和７年７月

兵庫県教育委員会事務局

高　校　教　育　課

目　　　次

令和７年度高校教育課施策体系表・・・・・・・・・・・・・・・・・３
Ⅰ　県立高等学校の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
Ⅱ　「確かな学力」の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
Ⅲ　「豊かな心」の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
Ⅳ　社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成・・・・・・・・・27
Ⅴ　特別支援教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
Ⅵ　多様性の尊重と包摂性のある教育の推進・・・・・・・・・・・33
Ⅶ　教育 DX の実現に向けた教育の情報化の推進・・・・・・・・・33
Ⅷ　修学環境の整備・充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

（参考資料１）
地区別県立高等学校数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
（参考資料２）
大学科別県立高等学校数・生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・36
（参考資料３）
「県立高等学校教育改革第二次実施計画」の推進状況(H21～R3)・・37
（参考資料４）
「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書(R3.3.29 受領)」
の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
（参考資料５）
「県立高等学校教育改革第三次実施計画(R4.3.策定)」
の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

令和７年度　高校教育課施策体系表

兵庫が育む　こころ豊かで自立する人づくり

―「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成―

- 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進
  - 「確かな学力」の育成
    - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
      - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
    - 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する国際教育の強化
      - グローバルな視野で活躍・行動するための資質・能力の育成
      - チャレンジ精神や異文化理解を育む国際交流等の推進
    - 新たな価値を創造する教育の充実
      - 科学技術系人材育成のための理数教育の充実
    - 魅力と活力ある高校づくりの推進
      - 学びたいことが学べる魅力と活力ある学校づくりの推進
      - 定時制・通信制教育の充実
  - 「豊かな心」の育成
    - 兵庫型「体験教育」の推進
      - 主体的な取組を強化する兵庫型「体験教育」の新展開
    - ふるさと意識を醸成する教育の推進
      - 歴史に関する教育等の充実
      - 地域住民への学習機会の提供
    - いじめへの対応
      - 早期発見のための取組
      - 早期対応のための取組
  - 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成
    - 兵庫型「キャリア教育」の推進
      - 小・中・高一貫したキャリア形成を図る取組の充実
    - 社会的資質・能力の発達の支援
      - 個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達に資する指導等の推進
    - 主体的に社会の形成に参画する態度等の育成
      - 主体的に行動する力の育成
  - 特別支援教育の推進
    - 連続性のある多様な学びの場における教育の充実
      - 多様性を認め合い、共に過ごすための条件整備の推進
      - 特別支援教育を充実させるための教育環境整備の推進
- すべての子どもたちが自分らしく安心して過ごせる学校・家庭・地域等の構築
  - 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進
    - 多様な教育ニーズへの対応
      - 一人一人の課題に対応した教育等の推進
- 安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実
  - 教育DXの実現に向けた教育の情報化の推進
    - １人１台端末の活用推進
      - 「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の展開
    - 校務改善と教育環境充実に向けたICT環境の整備・充実
      - ICTを活用した業務効率化の推進
  - 修学環境の整備・充実
    - 安心・安全な教育環境整備の推進
      - 学校図書館の整備の推進
      - 産業教育備品整備の推進

Ⅰ　県立高等学校の状況

1　課程別学校数

課　程		県立学校数	内　容
全日制		131 校※	授業や学校行事、部活動などの教育活動を昼間に行う。高等学校の特色に応じて、時間割やクラス編成などを工夫。
定時制	夜　間	15 校 （単独６校 併置９校）	夜間の時間帯に教育活動を行う。 午後５時から９時頃まで学ぶ。
	多部制	４校 （単独３校 併置１校）	複数の時間帯に教育活動を行う。 １部（午前）、２部（午後）、３部（夜間）の３つの部のいずれかに属して学習する。 部を越えて時間割を組み学習することも可能。
通信制		２校 （単独１校 併置１校）	通信の方法により教育活動を行う。リポートの提出やスクーリング（教室などで教員から直接指導）などにより単位を修得。
計		141 校（単独 130 校、併置 11 校）	
中等教育学校　１校			６年間の一貫した教育を行う。 （前期：中学段階、後期：高校段階）

※　R6 年度の学校数（125 校）に R7 年度開校の発展的統合校 6 校を加えて計上。

2　学科別学校数

(1) 全日制（131 校）

学　科			県立学校数	学習内容	選抜方法・学区
普通科		学年制	84 校	国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語等の各学科に共通する教科（以下、「共通教科」という）を中心に学ぶ	学力検査、推薦入学、特色選抜（５学区）
		単位制	11 校		
専門学科等	職業教育を主とする学科	学年制	28 校 38 学科	共通教科とともに、農業、工業、音楽、美術等の専門教科（25 単位が必須）を学ぶ	学力検査、推薦入学（全県学区）
		単位制	２校 ２学科		
	特色ある専門学科	学年制	14 校 16 学科		
		単位制	３校 ３学科		
	学際領域に関する学科	学年制	10 校 10 学科	共通教科の各教科・科目の学びを基本としながら探究活動に特化した学習に取り組む	推薦入学（５学区）
	地域社会に関する学科	学年制	３校 ３学科		
	STEAM に関する学科	単位制	５校 ５学科		
総合学科		単位制	16 校	共通教科と専門教科（「産業社会と人間」を含め 25 単位設置が必須）を選択履修し総合的に学ぶ	学力検査（５学区）、推薦入学（全県学区）

※１　複数の学科を設置している学校は重複して計上。
※２　単位制は、学年の区分なく、必要な単位を修得することで卒業を認定。
※３　選抜方法・学区は、原則を記載。

(2) 定時制（19 校）

<table>
<tr><th colspan="4">学　科</th><th>県立学校数</th><th>学校名</th><th>選抜方法・学区</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">普通科</td><td rowspan="2">夜間</td><td>学年制</td><td>８校</td><td>湊川、有馬、錦城、農業、松陽、赤穂、豊岡、洲本</td><td rowspan="6">学力検査（全県）</td></tr>
<tr><td>単位制</td><td>１校</td><td>姫路北</td></tr>
<tr><td colspan="2">多部制（単位制）</td><td>３校</td><td>西宮香風、阪神昆陽、西脇北</td></tr>
<tr><td rowspan="3">専門学科</td><td rowspan="3">職業教育を主とする学科</td><td rowspan="2">夜間</td><td>工業科</td><td>４校４学科</td><td>神戸工業、神崎工業、小野工業、相生産業</td></tr>
<tr><td>商業科</td><td>２校２学科</td><td>長田商業、龍野北</td></tr>
<tr><td>多部制（単位制）</td><td>工業科</td><td>１校１学科</td><td>飾磨工業</td></tr>
</table>

(3) 通信制（２校）　青雲、網干　※通信制は全て単位制

３　普通科（全日制）

(1) 概要

国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語等の共通教科を中心に学んでいる。加えて、生徒の興味・関心、適性・進路希望等に応じて系統的な教科・科目が学べる「コース」、地域の実態、生徒の学習ニーズ等を踏まえて各分野や領域に関する学習を取り入れた「特色類型」を設置している。

(2) コースの設置状況（全日制 15 校 16 コース）

→普通科新学科または普通科特色類型に改編

（R７に募集停止。３年生または２・３年生が在籍）

コース名	設置数	学校名
国際文化系	４校	神戸鈴蘭台、宝塚西、明石城西、姫路飾西※1
自然科学系	９校	津名、淡路三原、川西緑台、柏原、篠山鳳鳴、姫路飾西※1、相生、福崎、八鹿
総合人間系	３校	御影、尼崎、北条

※１　下線は同一学年に複数コース設置校

(3) 特色類型の設置状況（全日制 57 校 60 類型）

類型名	設置数	学校名
人文・社会学系	２校	須磨東、西宮北※1
自然科学系	８校	星陵、舞子、伊丹、西宮北※1、明石、西脇、相生、赤穂※2
環境・情報系	６校	尼崎北、西宮南、明石清水、三木北、吉川、家島
教育系	６校	夢野台、猪名川、西宮甲山、三田西陵、明石西、山崎
芸術・スポーツ系	７校	伊川谷北、尼崎西、高砂※1、松陽、姫路南、神崎、村岡
看護・福祉系	７校	東灘、神戸北、尼崎小田、伊丹西、高砂※1、社、多可
国際系	４校	宝塚西、川西明峰、加古川西、網干
総合系	20 校	長田、伊川谷、神戸高塚、洲本、川西北陵、鳴尾、宝塚、宝塚東、北摂三田、高砂南、東播磨、播磨南、姫路別所、赤穂※2、上郡、伊和、夢前、出石、浜坂、生野

※１　下線は同一学年に複数類型設置校
※２　赤穂は自然科学系から総合系に改編（R７）

(4) 単位制の設置状況（11 校）

設置数	学校名
11 校	北須磨、尼崎稲園、西宮、芦屋、三田祥雲館、加古川北、姫路東 篠山鳳鳴※、明石※、姫路飾西※、豊岡※

※ 篠山鳳鳴、明石、姫路飾西、豊岡は「STEAM 探究科」設置校としての単位制。

(5) 普通教育に関する学科

（学際領域に関する学科、地域社会に関する学科、STEAM に関する学科）

① 概要

普通教育に関する各教科・科目の学びを基本としながら、大学等の研究機関や地域自治体、企業等との連携・協働により、SDGs の実現等に向けた探究活動に特化した学習（週２時間程度）に取り組む。（３学年で７単位以上）

② 設置状況（18 校、18 学科）

学科名	設置数	学校名
文理探究科	10 校	御影、神戸鈴蘭台、神戸学園都市、津名、 淡路三原、西宮苦楽園、川西緑台、明石城西、 播磨福崎、八鹿
地域科学探究科	３校	柏原、尼崎、姫路海稜
STEAM 探究科	５校	篠山鳳鳴、明石、北条、姫路飾西、豊岡

※STEAM 探究科は全て単位制

4 専門学科等（全日制）

(1) 職業教育を主とする学科

① 概要

農業、工業、商業など職業に関する各分野における将来のスペシャリスト及び地場産業を担う人材、人間性豊かな職業人を育成する。

② 設置状況（30 校 40 学科）

学科名	設置数	学校名
農業科	10 校	有馬、氷上、<u>篠山産業</u>※1、篠山東雲、農業、播磨農業、 上郡、<u>佐用</u>※1、山崎、但馬農業
工業科	12 校	兵庫工業、尼崎工業、<u>篠山産業</u>※1、東播工業、西脇工業、 <u>小野工業</u>※1、姫路工業、飾磨工業※3、<u>相生産業</u>※1、 <u>龍野北</u>※1、豊岡総合、<u>洲本実業</u>※1
商業科	７校	神戸商業、<u>篠山産業</u>※1、<u>松陽</u>※1、小野、姫路商業、 <u>相生産業</u>※1、<u>洲本実業</u>※1
水産科	１校	香住
家庭科	５校	<u>松陽</u>※1、西脇、社、<u>小野工業</u>※1、<u>佐用</u>※1
看護科※2	２校	<u>龍野北</u>※1、<u>日高</u>※1
福祉科	３校	武庫荘総合※3、<u>龍野北</u>※1、<u>日高</u>※1

※１ 下線は同一学年に複数学科設置校

※２ 看護科には専攻科を設置し、５年一貫教育を実施

※３ 武庫荘総合、飾磨工業は単位制

(2) 特色ある専門学科

① 概要

理数、国際、防災、スポーツや芸術など、専門的な知識・技術の習得、人間性の涵養を行い、将来、社会の各分野で活躍できる人材を育成する。

② 設置状況（17 校 19 学科）

学科名	設置数	学校名
理数科	9校	神戸、兵庫、尼崎小田※1、宝塚北※1、明石北、 加古川東、小野、姫路西、龍野
体育科	1校	社
音楽科	1校	西宮※2
美術科	1校	明石※2
国際科	5校	尼崎小田※1、鳴尾、国際※、明石西、三木
演劇科	1校	宝塚北※1
環境防災科	1校	舞子

※1 下線は同一学年に複数学科設置校

※2 国際、西宮、明石は単位制

5 総合学科

(1) 概要

生徒の興味・関心、適性・進路希望等に応じて、共通教科と専門教科の中から科目を選択する。将来の職業や生き方を考える科目「産業社会と人間」を必須とする。また、「系列」と呼ばれる多様な選択科目群を設けている。

(2) 設置状況（16 校）

設置数	学校名
16校	神戸甲北、須磨友が丘、北神戸総合、伊丹北、西宮今津、 武庫荘総合、有馬、明石南、加古川南、三木東、三木総合、香寺、 太子、豊岡総合、和田山、淡路

※総合学科は全て単位制

※神戸甲北、三木東は、発展的統合により、Ｒ７に募集停止。（２・３年次生が在籍）

※北神戸総合・三木総合は、Ｒ７に開校。（１年次生が在籍）

Ⅱ　「確かな学力」の育成

新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けた授業改善等、学びの充実に取り組むとともに、グローバル化をはじめ、ＩＣＴやＡＩ等の技術革新等、複雑化・多様化する社会において、社会課題の発見・解決や持続的な社会の発展・創造に向け、新たな価値を創造し、既存の様々な枠を越えて活躍できる人材の育成を推進する。

１　「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進

①　ひょうご学力向上実践研究事業の実施　　2,635 千円

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるため、重点校を指定し、授業改善に取り組む。

・重点校　15 校
・期　間　３年間（Ｒ６～Ｒ８）
・内　容
「個別最適な学びの研究」　：生徒１人１人の特性や学習進度、学習到達等に応じた重点指導、指導方法等の工夫　等
「協働的な学びの研究」　：探究的な学習や体験活動等を通じて、持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成する授業の研究
・カリキュラム・マネジメントの研究会議
教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図るため、重点校間での課題・実施状況の共有、研究協議の実施
・専門グループ会議
全７領域（国・数・地公・理・外・情・総合的な探究の時間）のグループ会議を実施
・学力向上全県研究会
学識経験者による全重点校の取組の総合的な評価

②　高大接続事業の展開

<県教育委員会における連携>

県教育委員会と京都・大阪・神戸大学とで締結した協定に基づき、生徒の学力向上に資する発展的な学習や学習意欲を喚起するため、大学と高校との連携による教育及び研究活動を展開する。

・実施校
(ｱ) 京都大学　　連携校を指定しない包括的な協定
(ｲ) 大阪大学　　連携指定校　20 校
(ｳ) 神戸大学　　連携指定校　 ８校
・内　容
(ｱ) 高大連携課題研究合同発表会（京都大学）
(ｲ) 高校生対象質問力を鍛えるワークショップ（大阪大学）
(ｳ) 大学教授による公開授業（神戸大学）

<各校における連携>

・個別協定に基づく連携（兵庫県立大学、兵庫教育大学、神戸学院大学　等）
・探究活動のアドバイザーとしての連携（武庫川女子大学、関西国際大学、兵庫大学　等）
・新学科設置に伴うコンソーシアムへの参画（関西学院大学、甲南大学　等）

２　伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する国際教育の強化

(1) グローバルな視野で活躍・行動するための資質・能力の育成

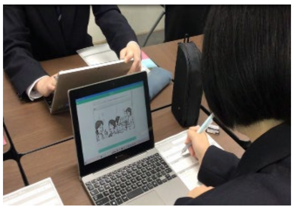
①　HYOGO グローバルリーダー育成プロジェクトの実施

語学力の向上を図るとともに、高等学校段階において、探究活動を通じた課題発見・解決能力の育成やシビックプライドの醸成を図りながら、グローバルな視点を持ち、地域社会の活性化を担う人材を育成する。

ア　英語力向上のための研究と実践　　12,960 千円

CEFR Ａ２相当以上を達成した生徒の割合 60%以上を目指し、英語教育重点校を指定し、BYOD 端末を活用して、英語学習支援アプリと ALT による指導を効果的に融合させる授業実践及び英語学習指導を行う。

・指定校　20 校
・期　間　３年間（Ｒ６～Ｒ８）



アプリを活用した授業の様子

イ　高等学校探究活動の充実　　51,000 千円

グローバルに活躍できる人材育成を目指す学校を指定し、先進的で創造的な探究活動を行うとともに、県内の学校への成果を普及する。

(ｱ)　「ひょうごリーダーハイスクール」による実践研究

地域・企業・大学・関係機関等と連携して、先進的で創造的な探究活動を実施

【国指定事業による研究】

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)等、国指定を受けて大学や研究機関と連携して国内トップクラスの研究等を実施

・指定校　SSH:16校（県立12校、市立２校、国立１校、私立１校）
　　　　　普通科改革: ５校（県立４校、市立１校)、マイスター・ハイスクール: １校

【県指定事業による研究】

文理融合型や国際系の探究の研究、県立大学・神戸大学等と連携した研究、留学生等ネイティブスピーカーとの文化交流、地域課題発掘・解決方策の提案等を実施

・指定校　11校（県立７校、県立大学法人１校、私立３校)

(ｲ)　研究成果の普及

全県的な発表会を実施

探究活動研究会での発表（姫路飾西）

探究活動研究会　ポスター発表の様子

ウ　海外留学サポート　　　　　　　　　　**28,359 千円（一部国庫 18,840 千円）**

高校生の海外留学を促進するため、留学費用の補助や留学フェアを実施する。

(ｱ) 高校生の留学促進

	長期	短期	はじめて留学
対象となる留学プログラム派遣期間	学校等が主催する海外留学プログラムの期間（原則１年間）	学校が主催する海外派遣プログラムの期間（原則10日以上１ヶ月未満）	学校等が主催する海外等派遣プログラムの期間（原則７日以上１ヶ月未満）
対象生徒の経済的要件	なし（自己負担できる世帯）	なし（自己負担できる世帯）	教育振興会の奨学資金の貸与基準(4 人世帯 680 万円)以下の世帯の生徒
給付(補助)額／人	上限 400 千円	上限 60 千円	上限 200 千円
R６派遣人数	４人	210 人	31 人

(ｲ) 留学フェアの開催

・対象者　県内の高等学校及び中学校に在籍する生徒・保護者、学校関係者
・時　期　令和７年７月13日（日）
・場　所　東灘だんじりミュージアム
・内　容　留学体験者による発表、大使館や留学交流団体による情報提供
※フェアの内容は後日オンラインでも視聴可

【参考】

チャレンジ留学（産業労働部）　　　　　　　　　　**10,000 千円（一部基金）**

兵庫県のアンバサダーとして、兵庫で学び、国際的に活躍する若者の育成のため、新たに留学先での個々の学びを深めるためチャレンジする高校生を官民協働で支援する。

HYOGO高校生海外武者修行応援プロジェクト

・留学期間　約１ヶ月
・補助上限　50万円／１人(基金)　所得制限　なし
・補助人数　20人

②　グローバル・イングリッシュ・プロジェクトの実施　　　　　　**784,712 千円**

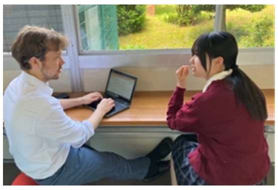
英語力の向上と異文化理解を促進するため、全ての県立高等学校及び中等教育学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置する。

ア　配置人数　132 人
※アメリカ、オーストラリア、イギリス、カナダ等 11 カ国

イ　活用方法

【全県立高等学校】
・異文化理解に係る教育活動の充実
・英語教育の充実に向けた発表会の指示・助言
・ホームルーム活動、部活動、学校行事等における日常的な英語活動機会の充実
・イングリッシュキャンプの実施　等

【重点配置校（国際系学科・コース、ＳＳＨ指定校　等)】
・海外の高校生との共同学習の指導
・英語以外の授業（数学・理科等）での英語による授業


ホームルーム指導や生徒面談を行う ALT（尼崎小田）

(2)　チャレンジ精神や異文化理解を育む国際交流等の推進

①　HYOGO グローバルリーダー育成プロジェクトの実施（再掲）

②　県立高校国際交流事業の実施

国際社会の一員としての幅広い教養と豊かな人間性を育成するため、姉妹州省において現地の高校生等との交流を通じて、文化・価値観の違いが実感できる体験活動プログラムを実施する。

ア　広東省との交流事業
・派遣人数　高校生10人、引率２人
・派遣期間　令和７年11月

イ　海南省との交流事業
・受入人数　高校生10人
・受入期間　令和７年11月

中国・海南省との高校生交流事業

【参考：海外研修旅行の実施校数及び参加生徒数】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実施校数	68 校	０校	０校	６校	48 校	53 校
参加人数	1,469 人	０人	０人	195 人	1,320 人	1,420 人

【参考：コロナ禍を契機としたオンライン交流の実施状況】
・令和２年度　８ 校（台湾、韓国、オーストラリア等）
・令和３年度　41 校（中国、台湾、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、タイ王国等）
・令和４年度　53 校（中国、台湾、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、タイ王国等）
・令和５年度　43 校（アメリカ、台湾、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、タイ王国等）
・令和６年度　51 校（アメリカ、台湾、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、タイ王国等）
（内容）
・グループに分かれて、互いの街や文化に関するプレゼンテーション及び質疑応答
・姉妹校の生徒とのディスカッションや、仮想空間における各自の研究の発表
・SDGs に関する協働プレゼンテーション
・ビデオ投稿交換　等
・農業高校がオンラインで実習の成果（ドッグショー）を実演・披露

③　海外工業高校生との技術交流事業の実施　　400 千円

グローバルに活躍する技術者精神を醸成するため、海外の工業高校生と県立工業高校生を相互に派遣し、技能コンテスト等を通じた技術交流を実施する。
・受入人数　高校生６人　引率５人
・受入時期　令和７年 11 月（５泊６日）
・内　　容　海南省の工業高校生との技能コンテストを通した技術交流 等

④　教員の国際交流の実施　　4,452 千円

ア　ワシントン州への教員派遣事業

・派遣人数　高校教員２人
　派遣期間　令和７年８月～令和８年７月

イ　西オーストラリア州との教員交流事業

(ｱ) 教員長期相互派遣

・派遣人数　高校教員２人
　派遣期間　令和７年４月～令和８年３月
・受入人数　西オーストラリア州立学校教員１人
　派遣期間　通常１月から１年間

(ｲ) 管理職交流

・派遣人数　学校管理職２人
　派遣期間　令和７年７月下旬～８月上旬
・受入人数　西オーストラリア州立学校管理職等２人
　派遣時期　令和７年11月下旬～12月初旬

西豪州への教員派遣事業

ウ　タイ王国との教育関係者交流事業

・派遣人数　学校管理職５人
　派遣期間　令和７年８月
・受入人数　タイ教育省、学校管理職５人
　派遣時期　令和７年10月

タイ王国との教育関係者交流事業

⑤　外国人生徒のための学習支援事業の実施　　19,851 千円

学ぶ意欲はあるが日本語能力やコミュニケーション能力が十分でないことから、高等学校への進学が難しい外国人生徒を支援するため、特別な入学者選抜を実施するとともに、入学後の適切な指導を行う。

・実施校　５校（芦屋、北神戸総合、伊丹北、加古川南、香寺）
・定　員　15人
・Ｒ７入学者数
　15人（芦屋３人、北神戸総合３人、伊丹北３人、加古川南３人、香寺３人）
・内　容
　適切な入学者選抜方法、入学後の指導方法（日本語指導、対象生徒への個別授業等）の開発

⑥　芦屋国際中等教育学校の運営

多文化共生社会の実現に向け、広い視野を持って異なる文化を理解・尊重し、共に学びあえる生徒を育成するため、６年間を通じて学ぶ中高一貫教育校として開校。

［学校の概要］

・開　　校　平成 15 年４月
・募集定員　外国人生徒　30 人 、海外から帰国した生徒　30 人
　　　　　　海外留学等を目指す日本人生徒　20 人

３　新たな価値を創造する教育の充実

(1)　科学技術系人材育成のための理数教育の充実

①　スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）等の実施　89,380 千円

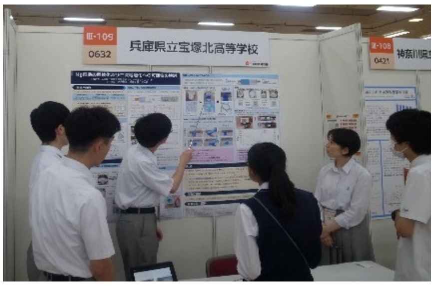
（文部科学省、科学技術振興機構(JST)指定）

国が将来の国際的な科学技術系人材の育成や高大接続の在り方を検討するため実施しているスーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）を活用し、指定を受けた各学校が特色ある科学技術、理科・数学教育に関する教育課程等に取り組む。(全国 230 校　県立高校 12 校)

【指定校・取組例】

指定校	取組例（令和６年度 SSH 生徒研究発表会出場）
神戸	ワモンゴキブリにおける数値の視覚的認識と短期記憶（科学技術振興機構理事長賞受賞）
長田	学校の椅子による騒音の改善
尼崎小田	超低温凍結による匂い物質の分離・採集
宝塚北	Mg 電池の固体化および二次電池化への可能性（審査委員長賞受賞）
三田祥雲館	海水を避ける海の貝～タマキビガイの謎に迫る～
明石北	野菜・果物の種や皮を利用した肌の乾燥を抑制するアルコール消毒液の開発
加古川東	火災旋風の発生条件～炎の配置に注目して～
小野	香りを持つクロモジ類の分類学的研究
姫路東	西南日本山陽帯と山陰帯のマグマ分化末期の熱水残液循環の比較－深成岩の角閃石から発見した波状累帯構造を指標とする提案－
姫路西	ミミズの核心に迫る
龍野	水生植物群落の保全と外来生物の関係
豊岡	植物発電を最適化する

「タンパク質の性質」化学実験（姫路西）



SSH 生徒研究発表会(宝塚北)

② 「数学・理科甲子園 2025」の実施　　514 千円（科学技術振興機構(JST)1/2）

高校生の科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高めるとともに、科学好きな生徒らが集い、競い合い、活躍できる場を構築し提供することで、科学好きの裾野を広げる。

・日　　程　令和７年 10 月 25 日（土）

・場　　所　甲南大学

・内　　容　数学、理科、科学技術等の基礎的・基本的な知識、技能を用いて、日常生活と関連づけられた数学・理科の課題に対し、生徒がチームを組んで、解答へのアプローチを競う（Ｒ６実績 62 校 372 人参加）

決勝（実技競技　実験の様子）

決勝（実技競技　プレゼンの様子）

③ 兵庫「咲いテク」事業の実施

ＳＳＨ指定校の連携を図り、各校の取組を共有し発展させるため、合同発表会や情報交換会、共同研究の実施及び「サイエンスフェア in 兵庫」などの研究成果発表の場の提供を行う。

ア　Science Conference in Hyogo

英語による研究成果の発表や、他の発表者・聴衆との質疑応答を通じて、科学・持術の分野での英語運用能力の向上を図る。

・日　　程　令和７年７月 12 日（土）

・場　　所　神戸大学百年記念館　(神大会館)

・参加者数　177 人（生徒 91 人、教員 45 人、ALT18 人、その他 23 人）（Ｒ６実績）

イ「サイエンスフェア in 兵庫」

・日　　程　令和８年１月 25 日（日）

・場　　所　兵庫県立大学情報科学キャンパス他

・内　　容　神戸高校など県内のＳＳＨ指定校を中心に、高校、大学、企業、研究機関が、研究発表を通じて交流し、理数分野における日頃の取組を情報発信する。

・参加者数 1,307 人（高校 1,197 人(生徒 958 人、教員 164 人、その他 75 人)、企業・大学等 110 人）（Ｒ６実績）

ウ「五国 SSH 連携プログラム」

・データサイエンスコンテスト（姫路西）

・地理情報システム（GIS）を探究活動に利用する（三田祥雲館）等

④ 理数教育推進協議会の開催

学識経験者、小・中・高等学校関係者を委員として、小・中学校の実態を踏まえつつ、事業の評価・検証を行い、高等学校の理数教育の充実を図る。

⑤　HYOGO グローバルリーダー育成プロジェクトの実施(再掲)

4　魅力と活力ある高校づくりの推進

(1) 学びたいことが学べる魅力と活力ある学校づくりの推進

「県立高等学校教育改革第三次実施計画」（令和４年３月策定）に基づき県立高等学校の魅力・特色づくりの推進、県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置の検討、入学者選抜制度・方法の工夫と改善を推進する。

①　普通科改革における新学科設置事業の実施　　18,800 千円（国庫）

学校教育法施行規則一部改正による普通科改革を踏まえ、新学科設置を検討する学校に対し、学識経験者や大学等との連携や、カリキュラム開発を支援する。

ア　指 定 校　４校

イ　指定期間　３年間　篠山鳳鳴、姫路飾西（Ｒ５～Ｒ７）
　　　　　　　　　　　尼崎、淡路三原（Ｒ６～Ｒ８）

〔参考：普通科新学科設置校〕

1　**学際領域に関する学科**＝SDGs の実現等の課題に対応するため、特色・魅力ある学びに取り組む

2　**地域社会に関する学科**＝地域社会が抱える課題に対応するため、特色・魅力ある学びに取り組む

3　**その他の学科**　　＝スクール・ミッションに基づく特色・魅力ある学びに取り組む

学科	高校名	学科名	設置年度
学際	御影	文理探究科	令和６年度
	八鹿	文理探究科	令和６年度
	神戸鈴蘭台	文理探究科	令和７年度
	津名	文理探究科	令和７年度
	淡路三原	文理探究科	令和７年度
	川西緑台	文理探究科	令和７年度
	明石城西	文理探究科	令和７年度
	神戸学園都市	文理探究科	令和７年度
	西宮苦楽園	文理探究科	令和７年度
	播磨福崎	文理探究科	令和７年度
地域	柏原	地域科学探究科	令和６年度
	尼崎	地域科学探究科	令和７年度
	姫路海稜	地域科学探究科	令和７年度
その他	篠山鳳鳴	STEAM 探究科	令和６年度
	明石	STEAM 探究科	令和６年度
	姫路飾西	STEAM 探究科	令和６年度
	豊岡	STEAM 探究科	令和６年度
	北条	STEAM 探究科	令和７年度

神戸医療産業都市訪問（御影）

たんば子ども塾（柏原）

VR ゴーグル体験(姫路飾西)

② 県立高校魅力アップ推進事業　55,860 千円

各校が定めた教育目標に基づき、日々の教育活動の中で創意工夫に努め、本県が進めてきた「学びたいことが学べる学校づくり」を一層推進するため、全県立高等学校の特色ある取組を推進する。

・実 施 校　全県立高等学校及び中等教育学校（後期課程）
・実践内容

(ア)スクール・ミッション等に基づく魅力・特色づくりの推進	
学校外の機関等との連携による独自の特色あるカリキュラムの展開	45校50学科
地元自治体、大学、企業等との連携による特色ある教育活動の展開	44校49学科
メディア関連企業等との連携による動画等の企画･制作に力点を置いた特色ある表現活動の展開	２校２学科
(イ)自己や他者の理解に基づき行動できる能力を育む教育の推進	
産業現場で働く先輩との交流やインタビュー等、キャリア･プランニング能力を高める教育活動の展開	16校16学科
日本や郷土の伝統と文化を理解し、異なる文化を有する人々に伝える力を育成する教育活動の展開	４校４学科
海外の異なる文化や習慣を理解し、交流等を通して協働しようとする力を育成する教育活動の展開	15校18学科
(ウ)新たな価値観を創造する力を育む教育の推進	
大学等の研究機関、企業等との連携による、先端技術を活用した探究活動を軸とする教育課程の展開	28校34学科
地元企業や生産者等と連携し新たな付加価値の創造などに関する探究活動を軸とする教育課程の展開	14校19学科
学校独自の動画コンテンツ等、ICT 等の活用を軸とする個別最適化した教育活動の展開	１校１学科

【参考】　令和６年度県立高校魅力アップ推進事業の取組

（ア）スクール・ミッション等に基づく魅力・特色づくりの推進

地域福祉実践(神戸北)

網干地区探索(網干)

動画制作(洲本実業)

（イ）自己や他者の理解に基づき行動できる能力を育む教育の推進

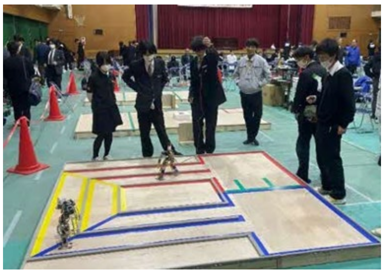
生き方講演会(龍野北・定)

ゆめさきの魅力発表会(夢前)

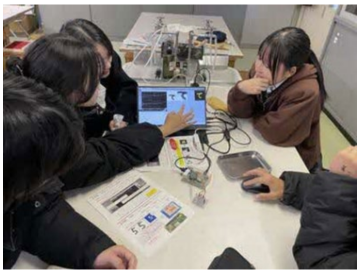
英語ディベート大会(加古川西)

（ウ）新たな価値観を創造する力を育む教育の推進

サイエンスフェスタ(北条)



ロボット競技大会(神戸工業・定)



小型マイコンボード実習(川西緑台)

③ 拡 発展的統合校交流支援事業 3,600 千円

令和７年度の発展的統合に伴い、新入生の受け入れがなくなる対象校の生徒の異年齢間交流や集団活動の機会確保のため、対象校同士の学校行事や部活動での積極的な交流を支援する。

ア 対象校

校名	対象校	設置学科	学びの特色
北神戸総合	神戸北 神戸甲北	総合学科	・宇宙や気象に関する専門的な理数教育 ・複数の外国語科目による国際理解教育 ・AI や IoT 等のﾃﾞｼﾞﾀﾙ技術に関する教育
神戸学園都市	伊川谷 伊川谷北	普通科・ 文理探究科	・大学等と連携した文理融合的教育 ・姉妹校提携等を活用した海外交流 ・世代間交流によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力の育成
西宮苦楽園	西宮北 西宮甲山	普通科・ 文理探究科	・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞに力点を置いた探究活動 ・幼小中学校と連携した課題解決学習 ・国際交流による英語活用能力の育成
三木総合	三木北 三木東 吉川	総合学科	・地域の教育資源を活かしたｷｬﾘｱ教育 ・美術とﾃﾞｼﾞﾀﾙを融合した情報ﾃﾞｻﾞｲﾝ ・環境問題や地域防災に取り組む教育
姫路海稜	姫路南 網干 家島	普通科・ 地域科学探究科	・地域連携による地域活性化型の探究活動 ・ICT や AI を活用したﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ ・音楽・ｽﾎﾟｰﾂに関する専門的な教育
播磨福崎	福崎 夢前	普通科・ 文理探究科	・医療福祉に特化したｻｲｴﾝｽﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ・地域文化の伝承を目指す地域連携活動 ・地域の環境問題に取り組む探究活動

イ 取組内容

発展的統合対象校による学びの特色合同発表会を開催

年間を通じた発表準備、発表会等を通じて、統合校同士の学びの交流を促進

ウ 取組例

北神戸総合……２校の１年生がサッカーやバスケットボールなどのスポーツを通して、交流を深める行事を開催

三 木 総 合……３校の生徒会がグループワーク等を通し、統合校に引き継ぐべき各校の魅力について話し合う研修会を開催

播 磨 福 崎……両校の全校生徒が福崎高校に集まり、合同文化祭を開催し、生徒会企画のビンゴ大会や吹奏楽部の合同演奏等を実施

北神戸総合

三木総合

播磨福崎

④　高等学校 DX 加速化推進事業（再掲）

⑤　HYOGO グローバルリーダー育成プロジェクトの実施（再掲）

⑥　県立高校ふるさと共創プロジェクト（再掲）

⑦　連携型中高一貫教育校の運営

小規模校の活性化と将来の地域づくりの担い手を育成する観点から、３地域で連携型中高一貫教育校を運営する。

千　種（H22）　…　宍粟市立千種中学校

氷上西（H24）　…　丹波市立氷上中学校、青垣中学校

浜　坂（R８：予定）　…　新温泉町立浜坂中学校、夢が丘中学校

【募集定員】

定員に対する一定の割合（75%）：定員 40 名（推薦定員 30 名）

【主な取組】

・中高連携による授業、部活動、生徒会活動
・中高連携による学校行事の開催、地域イベント等への参加
・中高教職員による合同会議
・幼小中高が連携した地域行事の開催　等

(2) 定時制・通信制教育の充実

①　多部制単位制高等学校の設置

働きながら学ぶ生徒や中途退学者の学び直し、自分のペースで学びたい生徒など幅広いニーズをもつ生徒に対応するため、多部制単位制高等学校を設置する。

・設 置 校　４校　普通科　３校（西宮香風、阪神昆陽、西脇北）
　　　　　　　　　工業科　１校（飾磨工業）
・授業時間帯　１部（午前）、２部（午後）、３部（夜間）の３部制
・学　　期　前期、後期の２学期制
・生徒募集の方法

区分	入学時期	出願資格
Ⅰ・Ⅱ期試験	４ 月	中学校卒業見込者または既卒者等
Ⅲ期試験	10 月	中学校既卒者または転・編入希望者

②　定時制及び通信制高等学校における三修制の推進

定時制及び通信制高等学校において、３年で卒業を可能とする三修制を推進するため、学校間連携や学校外の学修等、多様な学習活動を保障する教育課程を実施する。

ア　併修教育

定時制課程または通信制課程に在籍している生徒が、一部の科目について、それぞれ通信制課程または定時制課程で履修することができる。

イ　高等学校卒業程度認定試験の単位認定

高等学校卒業程度認定試験の合格科目を、在籍する高等学校の相当する教科・科目の単位として認定することができる。

ウ　知識及び技能に関する審査の成果の単位認定

文部科学省が定める知識及び技能に関する審査の合格により、在籍する高等学校の相当する教科・科目の単位として認定することができる。（例 実用英語技能検定、危険物取扱者等）

エ　実務等による職業に関する各教科・科目の履修の一部代替

職業に関する教科・科目を履修する生徒が、密接な関係を有する職業に従事している場合、その実務をもって、その教科・科目の履修の一部にかえることができる。

③　専修・特別専修コースの充実

職業に関する専門教育の学習を希望する者のため、専修・特別専修コースを設置する。

ア　専修コース（当該学科の卒業資格を認定）

・設 置 校　２校　神戸工業（機械、電気、建築、情報技術）、長田商業（商業）

・対 象 者　当該学科以外の学科の高等学校卒業者等（Ｒ６実績 26 人）

・履修方法　修業年限２年（３年次に編入学）

イ　特別専修コース（主に職業に関する資格を取得）

・設 置 校　神崎工業（機械、電気）

・対 象 者　当該学科以外の学科の高等学校卒業者並びに高等学校第１学年以上の課程の修了者と同等以上の年齢及び学歴があると認められた者（Ｒ６実績27人）

・履修方法　専門教育に関する教科・科目の一部を履修等

Ⅲ　「豊かな心」の育成

複雑化・多様化した社会において、変化を前向きに受け止めながら、地域や社会、生活、人生をより豊かなものとしていくため、公共の精神、郷土の自然や伝統・文化の尊重、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、人間関係を築く力、心の危機に気付く力、援助希求的態度等を育み、豊かな人間性を育成する。

1　兵庫型「体験教育」の推進

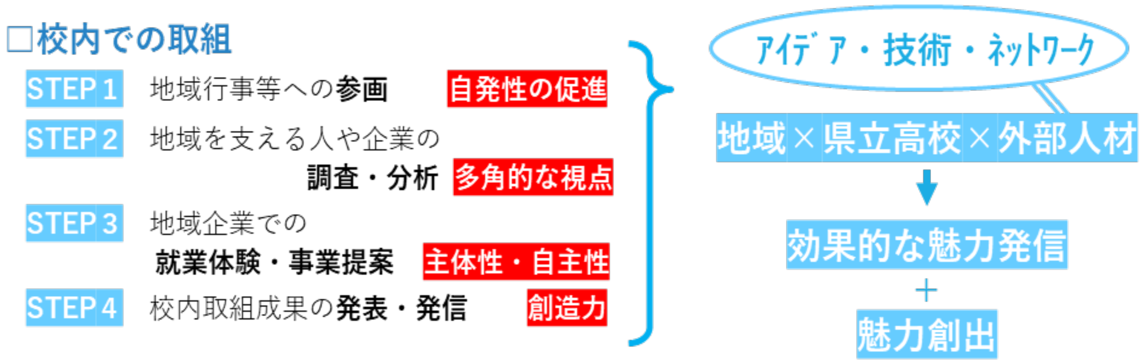
(1) 主体的な取組を強化する兵庫型「体験教育」の新展開

① 新　県立高校ふるさと共創プロジェクト　　　77,000 千円（一部国庫 38,500 千円）

高校生が地域資源を知り、見直しや活用について学びを深め、「まちづくり」や「ビジネス」の提案、学びの成果をアウトプットする機会、地域とのつながりを創出し、地方創生に貢献する人材育成を図るとともに、生徒自身が考え発信することでふるさとへの愛着とプライドを醸成する。加えて、各校が生徒の実態に応じて実施するインターンシップやふれあい育児体験も関連付けながら取組を推進する。

・実 施 校　153 校（全県立高等学校及び中等教育学校（後期課程））

・実践内容



・取組例

校名	取　組　内　容		
	地域活動	就業体験	発表
芦屋	地域ｲﾍﾞﾝﾄへの参加 地域の魅力・課題研究 防災食ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	職業人ｲﾝﾀﾋﾞｭｰ ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ 小学校職場実習	探究発表会 卒業生講演会
篠山鳳鳴	ﾃﾞｶﾝｼｮ保存会練習 小学校学習支援 地域ﾂｱｰｶﾞｲﾄﾞ	外務省職員講演会 ふれあい看護体験 職業人との座談会	探究中間発表会 探究 Day
社	地域環境保全活動 小学校での食育指導 地域施設合同学習会	進路別校外学習 地元企業の魅力を学ぶ会 地域の調査研究・分析	３科合同課題研究・探究活動発表会
姫路海稜	地域清掃活動 地域の魅力 PR 動画制作 地域との防災連携	企業経営者講演会 大学訪問 地域企業ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ	地域企業連携ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ成果発表会 地域探究成果発表会
浜坂	英語で街歩きｶﾞｲﾄﾞ 地域探究ﾌｨｰﾙﾄﾞﾜｰｸ 幼小中高合同ｱｰﾄ展	商工会青年部ﾌﾟﾚｾﾞﾝ発表 地域の若者交流会 保育園・小学校指導補助	地域活性化の提案 探究発表会

②　高等学校総合文化祭の開催及び参加　　1,000 千円

高校生の芸術文化活動の振興を図るとともに、生徒相互の交流と研鑽を深め、心豊かな人間性の育成を図るための発表会を開催するとともに、全国及び近畿の発表会に参加する。

ア　第 49 回兵庫県高等学校総合文化祭

・期　　日　令和７年 11 月１日(土)～11 月 23 日(日・祝)
・場　　所　明石市立西部市民会館（明石市）　他
・参加者数　7,711 人
（演劇、合唱、吹奏楽、書道など 19 部門）（R６実績）

第 48 回兵庫県高等学校総合文化祭ポスター

イ　第 45 回近畿高等学校総合文化祭（鳥取県）

・期　　日　令和７年 11 月 15 日(土)～11 月 23 日(日)
・場　　所　エースパック未来中心大ホール（倉吉市）　他
・参加府県（10 府県）
滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、三重、福井、徳島、鳥取

ウ　第 49 回全国高等学校総合文化祭（香川県）

・期　　日　令和７年７月 26 日(土)～７月 31 日(木)
・場　　所　あなぶきアリーナ香川（高松市）　他

〔参考：今後の本県での開催予定〕

第 46 回近畿高等学校総合文化祭
・期　　日　令和８年 11 月 13 日（金）～23 日（月・祝）

第 54 回全国高等学校総合文化祭
・期　　日　令和 12 年７月下旬開催予定

２　ふるさと意識を醸成する教育の推進

(1)　歴史に関する教育等の充実

①　高等学校日本の歴史及び文化に関する学習の充実

グローバルな視点から日本の歴史や文化を学ぶ機会を充実し、日本人としてのアイデンティティの確立を図るため、副読本「世界と日本」や教材「日本の文化」等活用した学習を全県で推進する。

※副読本「世界と日本」：世界史の授業の中で日本の歴史と関連づけて学ぶ。
教材「日本の文化」：日本の歴史や伝統文化を学ぶ。英訳版“The Culture of Japan”も活用。

②　県立高校ふるさと共創プロジェクト（再掲）

③　郷土伝統芸能の継承

伝統ある郷土の文化を後世に伝えていくため、高等学校の部活動において伝統文化の継承を推進する。

【推進校（６校）】

学校名	活動内容
明石城西	吟剣詩舞
千種	千種太鼓
出石	出石焼
淡路三原	淡路人形浄瑠璃
播磨農業	播州歌舞伎
浜坂	麒麟獅子舞

淡路人形浄瑠璃（淡路三原）

吟剣詩舞（明石城西）

(2) 地域住民への学習機会の提供

① 高等学校地域オープン講座の開設　　218 千円

各学校が設置する教科・科目のうち、学校の特色となる科目や地域住民の関心が高い科目について、地域住民に対し、高校生とともに学ぶ場を提供する。

ア　ユニット講座

・内　　容　通年にわたり地域の人々が参加することが可能な「ユニット講座」を開設し、地域住民が科目履修生として受講する。学習成果に応じて、校長が単位を認定することができる。

・開設校・講座　５校・９講座（Ｒ６実績）

・受 講 料　　１単位につき 1,620 円

・受講者数　　29 人（Ｒ６実績）

デジタル画像処理応用（川西明峰）

〔参考：Ｒ７実施予定講座〕※令和７年６月現在届出済の講座

学校名	講座名
川西明峰	「デジタル画像処理応用」～コンピュータでデザインやアートに挑戦！！～
加古川南	語学（中国語ⅠⅡ、スペイン語ⅠⅡ、ハングルⅡ）
飾磨工業(多)	木工加工
出石	書作品作り

イ　ユニーク講座

・内　　容

各教科・科目の学習内容のうち、地域住民の学習ニーズに対応した内容について、短期間の聴講を「ユニーク講座」として開設し、地域住民が聴講生として受講する。

・開設校・講座　３校・４講座（Ｒ６実績）

・受 講 料　無料

・受講者数　37 人（Ｒ６実績）

〔参考：Ｒ７実施予定講座〕※令和７年６月現在届出済の講座

学校名	講座名
尼崎小田	在宅療養ワークショップ
出石	陶芸制作
湊川	ふれあい書道
有馬	クラインガルテン、フローラルアート

3　いじめへの対応

(1) 早期発見のための取組

①　高校生心のサポートシステムの推進

生徒指導の充実、強化を図るため、問題行動抑止のための調査研究を行うとともに、問題行動を起こした生徒に対し、プロジェクトチームを編成して具体的な対応方策を実践する。加えて新しい生徒指導の実践研究を行う。

［高校生心のサポートシステムの実践・研究テーマ］

ア　いじめ対応や不登校に関する重層的支援に向けた実践・研究（14 校）

＜実践・研究の例＞

- 潜在化するいじめを認知するための学校の取組
- 心の悩みを抱える生徒への教職員や生徒の適切な関わり方の取組
- 「兵庫県版ストレスチェックシート」を活用した心の健康観察

イ　自殺予防に関する重層的支援に向けた実践・研究（16 校）

＜実践・研究の例＞

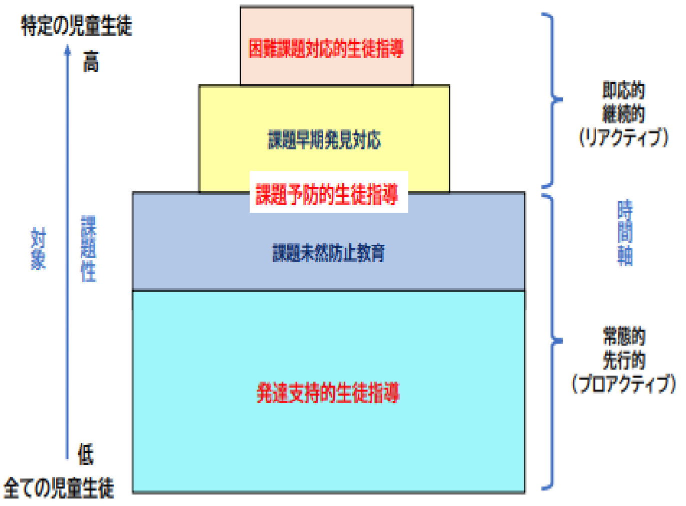
- 生きる喜びや命の大切さを実感させる取組
- 集団参加能力を育み、生徒の孤立を防ぐ取組
- 「兵庫県版ストレスチェックシート」を活用した心の健康観察
- 兵庫版「自殺予防教育プログラム」の活用

ウ　よりよい人間関係を形成する力を育む実践・研究（12 校）

＜実践・研究の例＞

- 希薄な規範意識による迷惑行為やコミュニケーション能力低下による生徒間のトラブル等の問題に対して、よりよい人間関係を形成する力を育む取組
- 情報モラルを育む取組

【重層的支援構造】



よりよい人間関係を形成する力を育む授業（多可）

自己肯定感・自己有用感を育む授業（龍野北）

【参考】

兵庫版「自殺予防教育プログラム」（令和７年３月）の周知・授業実践及び研修等を通して自殺予防教育の普及促進を図る。

② キャンパスカウンセラーの配置　69,264 千円

多様化・複雑化した生徒のいじめ等の問題行動に対応するため、キャンパスカウンセラーを高等学校に派遣し、教育相談体制の充実を図る。

・対 象 校　全県立高等学校及び中等教育学校（後期課程）
・派遣回数　４回程度／月
・内　　容
　生徒や保護者の教育相談
　生徒に関する教職員の相談
　カウンセリング等に関する、教職員等に対する研修や助言　等
・資　　格
　臨床心理士、精神科医、カウンセリング協会等が認定したカウンセラー、大学教授等

(2) 早期対応のための取組

① 県立学校問題解決サポートチームの設置　160 千円

高等学校等に寄せられる様々な要望等に対して、課題の早期解決を図るため、中立的な立場で判断・対応する体制を整備する。

・体　　制
　高校教育課内に専門員（非常勤）を配置（週４日）するとともに、必要に応じて弁護士及び精神科医を招聘
・支援内容
　保護者等からの苦情等への対応等にかかる学校管理職への指導・助言
　保護者、住民からの電話相談・面接相談及び早期解決への協力
　生徒指導協議会等での講義等教員研修への支援
・相談件数　1,324 件（Ｒ６実績）

【相談者等の内訳】

学校管理職	保護者	地域住民等	教員･生徒等	その他 (関係機関等)	計
877 件 (66.2%)	272 件 (20.5%)	80 件 (6.0%)	24 件 (1.8%)	71 件 (5.4%)	1,324 件

【相談方法の内訳】

電話	面談	その他 (手紙など)	メール	計
1,235 件 (93.3%)	54 件 (4.1%)	2 件 (0.1%)	33 件 (2.5%)	1,324 件

② スクールロイヤーの配置

県立学校に寄せられる様々な要望･問題等に対し、直接スクールロイヤーから法に基づく助言が得られる体制を整備し、早期解決を支援する。

・体　　制　高校教育課に配置（週１回）
・内　　容　教育委員会、学校における日常的な法律相談
　　　　　　重大事案・事故等発生時における指導・助言
・相談件数　実相談件数：　86 件、のべ相談件数：　109 件（Ｒ６実績）

【相談方法の内訳】

面談	Web 会議	計
94 件 (86.2%)	15 件 (13.8%)	109 件

【相談内容の内訳】

教職員への対応	いじめ問題	保護者からの要求･苦情	特別な支援を要する生徒への対応	学校運営上の課題	その他	計
28 件 (20.0%)	8 件 (5.7%)	36 件 (25.7%)	8 件 (5.7%)	6 件 (4.3%)	54 件 (38.6%)	140 件

③　学校と警察の連携強化

多様化する生徒指導問題に対応するため、現職の警察官である県警からの出向者を学警連携担当主幹として配置し、学校と警察との更なる連携体制の強化を図る。

Ⅳ　社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

子どもたち一人一人が自己実現を果たし、社会において充実して生きられるよう、自己のみではなく、主体的に他者と協力・協働することの重要性も認識しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力・態度を育成するとともに、持続可能な社会の創り手として、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度や規範を養う。

1　兵庫型「キャリア教育」の推進

(1) 小・中・高一貫したキャリア形成を図る取組の充実

①　小・中・高12年間を繋ぐキャリア教育実践研究充実事業の実施

ア 研究推進地域：６地域（小中高各１校程度）

地区	小学校	中学校	高等学校
阪神	西宮市立用海小学校 西宮市立南甲子園小学校	西宮市立真砂中学校	西宮今津高等学校
播磨東	加古川市立加古川小学校	加古川市立加古川中学校	加古川西高等学校
播磨西	宍粟市立山崎南小学校	宍粟市立山崎南中学校	山崎高等学校
但馬	新温泉町立浜坂北小学校	新温泉町立浜坂中学校	浜坂高等学校
丹波	丹波市立青垣小学校	丹波市立青垣中学校	氷上西高等学校
淡路	南あわじ市･洲本市組合立広田小学校	南あわじ市･洲本市組合立広田中学校	洲本実業高等学校

イ 指定期間　：２年間　（Ｒ７～Ｒ８）

ウ 内　　容

・12年間を通して身に付けさせたい力の明確化、指導計画の作成
・兵庫版「キャリア・パスポート」を活用した授業等の研究
・兵庫版「キャリア・パスポート」を校種間で引き継ぐ内容や方法の研究
・校内研修や合同研修の実施
・キャリア教育実態調査の実施
・実践事例集の作成等

②　キャリア教育研修の推進

ア　キャリア教育実践研修（進路指導部長会）

(ｱ) 対　象：全県立高等学校担当教員
(ｲ) 実施日：令和７年６月 13 日（金）

イ　初任者研修　キャリアノートの活用方法等

ウ　選 択 研 修　キャリア教育推進講座

(2) 「個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達」に資する指導等の推進

① 「ひょうご匠の技」探求事業の実施　4,200 千円

技術力の向上や技能検定・高度な資格取得を支援するため、工業高等学校にものづくりに関わる高度熟練技術者等を特別非常勤講師として招聘（週１日）する。

・対 象 校　12 校

・事業内容

ア　実習等の実技指導

生徒の「実習」や「課題研究」等の実技指導
（旋盤実習、電気工事実習、建築実習等）

イ　技能伝承講習会の実施（教員への実技指導）

工業科教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上のため、技能伝承講習会を実施

フライス加工(小野工業)

② 「ひょうごの達人」招聘事業の実施　7,504 千円

生徒の高度な資格取得やスキルアップを支援し、職業に関する学科をもつ高校における特色づくりを推進するため、農業、商業、水産、家庭に関する学科を設置する高等学校に専門家を特別非常勤講師として招聘（週１日）する。

・対 象 校　農業科(10 校)、商業科(９校)、水産科(１校)、家庭科(５校)

・事業内容

ア 実習等の実技指導

生徒の「実習」や「課題研究」等の実技指導
（造園、フラワーアレンジメント、簿記、情報処理、食品加工、シュノーケリング、調理等）

イ 技能伝承講習会の実施（教員への実技指導）

農業、商業、水産、家庭科教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上のために、技能伝承講習会を実施

ドローン操作(山崎)

③ マイスター・ハイスクール事業の実施　8,000 千円(国庫)

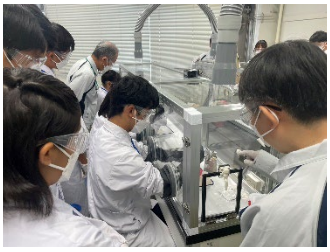
カーボンニュートラル社会を牽引する技術者およびキーテクノロジーである蓄電池技術を支える人材の育成に向けて、地域・企業・大学等と連携したネットワークを構築し、バッテリー人材育成に向けたカリキュラム開発等の研究を行う。

・拠 点 校　姫路工業

・連 携 校　洲本実業・兵庫工業

・実施期間　２年間（Ｒ６～Ｒ７）

・内　　容　企業・高専・大学等への見学、企業等の技術者による指導、近畿地区拠点校（大阪、和歌山）との情報交換会、教員・生徒による成果発表会及び特別講演会　等



小型蓄電池製造実習
(姫路工業)

④ 県立高校ふるさと共創プロジェクト（再掲）

２　社会的資質・能力の発達の支援

⑴ 個性の発見とよさや可能性の伸長、社会的資質・能力の発達に資する指導等の推進

① 小・中・高12年間を繋ぐキャリア教育実践研究充実事業の実施(再掲)

② キャリア教育研修の推進(再掲)

③ 高校生心のサポートシステムの推進(再掲)

３　主体的な社会の形成に参画する態度等の育成

⑴ 主体的に行動する力の育成

① 政治的教養を高める教育の推進

ア　政治的教養を高める教育に係る教員実践研究事業の実施

成年年齢が 18 歳となったことを踏まえ、公民科や家庭科等の教育活動を通じて、生徒に必要な政治的教養を身に付けさせるとともに、金融に関する知識や消費者として必要な知識に関する指導の充実に取り組む。

・実施日　令和７年５月 16 日（金）

・内　容　講義「若者の投票環境と投票参加について考える」

（講師：神戸大学大学院法学研究科教授）

イ　選挙管理委員会による出前授業　36 校（R６実績）

② 金融教育の推進

兵庫県と協定等を結んでいる団体や金融機関等による金融教育プログラムを実施

・内　容　金融トラブル、家計管理、資産形成　など

保険会社による金融教育(神戸商業)　　　銀行による金融教育(尼崎稲園)

Ⅴ　特別支援教育の推進（高校教育課関係分）

障害のある生徒が合理的配慮の提供を受けながら、適切な指導や必要な支援を受けられる体制の充実や、障害のない生徒との交流及び共同学習の充実を図る。

1　連続性のある多様な学び場における教育の充実

(1) 多様性を認め合い、共に過ごすための条件整備の推進

①　通級による指導実践研究事業の実施

LD、ADHD 等で、学習上や生活上のつまづきのある生徒を支援するため、「通級による指導」の実践研究校を設置し、自立活動の指導内容や特別の教育課程の編成等を研究する。

ア　拠点校（22 校）の取組

(ｱ) 特別の教育課程の編成等の研究

学校の教育課程上の特色や実態に合わせて、通級による指導への柔軟な対応や個に応じた指導、単位認定等について研究する。

(ｲ) 通級による指導及び校内研修の実施

(ｳ) 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成

中学校からの引継ぎ事項を活かし、適切なアセスメントに基づいた個別の教育支援計画等を作成・活用する。

(ｴ) 近隣の高等学校への理解啓発

通級による指導についての理解啓発に関する取組や巡回による指導の検討を行う。

イ　巡回校（26 校）の取組

拠点校の教員による巡回による指導を受ける。また、学校の研究課題に合わせた校内研修を実施する。

ウ　協力校（19 校）の取組

特別支援学校が協力校として、通級による指導の対象となる生徒のアセスメントや、個別の教育支援計画、個別の指導計画作成、自立活動の指導方法や必要な教材教具の助言を行う。

No.	拠点校（高等学校）	巡回校（高等学校）	協力校（特別支援学校）
1	東灘	芦屋国際中等	芦屋
2	神戸鈴蘭台	神戸甲北 【新】北神戸総合 【新】須磨東	神戸
3	湊川	青雲	神戸
4	淡路	淡路三原 【新】洲本実業	あわじ
5	西宮甲山		芦屋
6	宝塚西	宝塚 宝塚東	こやの里
7	西宮香風	【新】尼崎小田 国際	むこがわ
8	阪神昆陽	尼崎工業 神崎工業	阪神昆陽
9	有馬	伊丹北	上野ケ原
10	氷上西	【新】氷上	氷上
11	篠山産業		高等
12	播磨南	【新】錦城	東はりま
13	多可	加古川西	北はりま
14	西脇北	三木北	北はりま
15	太子		播磨
16	千種	伊和	西はりま
17	相生産業	赤穂	赤穂
18	姫路北	飾磨工業	姫路
19	村岡	香住 浜坂	出石みかた校
20	但馬農業		出石
21	豊岡総合	豊岡（定） 出石	豊岡聴覚
22	和田山	生野	和田山

② 特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習の推進

障害のある生徒と障害のない生徒との相互理解、地域社会の一員として生きる力を共に育むため、県立高等学校の教室を活用した県立特別支援分教室の設置を含めた日常的な交流及び共同学習を推進する。

ア　交流及び共同学習の実施

(ア) 内容

・音楽、体育、情報等の授業を通じた交流

・運動会、文化祭等の行事を通じた交流

・生徒会や部活動、作品展示等を通じた交流

多可高校と北はりま特別支援学校の交流及び共同学習

イ　高等学校への特別支援学校分教室の設置

交流及び共同学習の実践成果を踏まえ、施設(教室)の確保、カリキュラムの編成等環境の整った高等学校に特別支援学校分教室を設置し、教育効果を一層高める交流及び共同学習を実施する。

(ｱ) 実施校

・姫路別所高校内に姫路特別支援学校の分教室を設置（H23. ４～）

・猪名川高校内にこやの里特別支援学校の分教室（H26. ４～）及び
川西カリヨンの丘特別支援学校の分教室を設置（Ｒ６．４～）

・武庫荘総合高校内に阪神特別支援学校の分教室を設置（H27. ４～）

(ｲ) 取組

・「産業社会と人間」「情報」等の授業で共に学習

・交流文化祭、交流体育祭を合同で実施　等

(2) 特別支援教育の充実に向けた教育環境整備の推進　45,615 千円

① 特別な支援を必要とする生徒支援対策の実施

教育上特別の支援を必要とする生徒に対して、障害による困難を克服するための教育環境を整備するため、学校生活で支援が必要な生徒が在籍する県立高等学校に支援員を配置し、学校生活や学習活動を支援する。

・配置人数　75 人

・内　　容

ア 学校生活支援員

・配置人数　21 人

・対 象 者　肢体不自由のある生徒

イ 学習活動自立支援員

・配置人数　54 人

・対 象 者　発達障害のある生徒

Ⅵ　多様性の尊重と包摂性のある教育の推進

一人一人の生き方、能力、適性を考え固定的な性別役割分担意識等にとらわれずに、主体的に進路や職業等を選択する能力・態度等を身に付けられるよう、一人一人の能力・可能性を最大限に伸ばす教育を推進する。

1　多様な教育ニーズへの対応

(1) 一人一人の課題に対応した教育等の推進

①　高校生心のサポートシステムの推進(再掲)

②　外国人生徒のための学習支援事業の実施(再掲)

③　特別な支援を必要とする生徒支援対策の実施(再掲)

Ⅶ　教育 DX の実現に向けた教育の情報化の推進

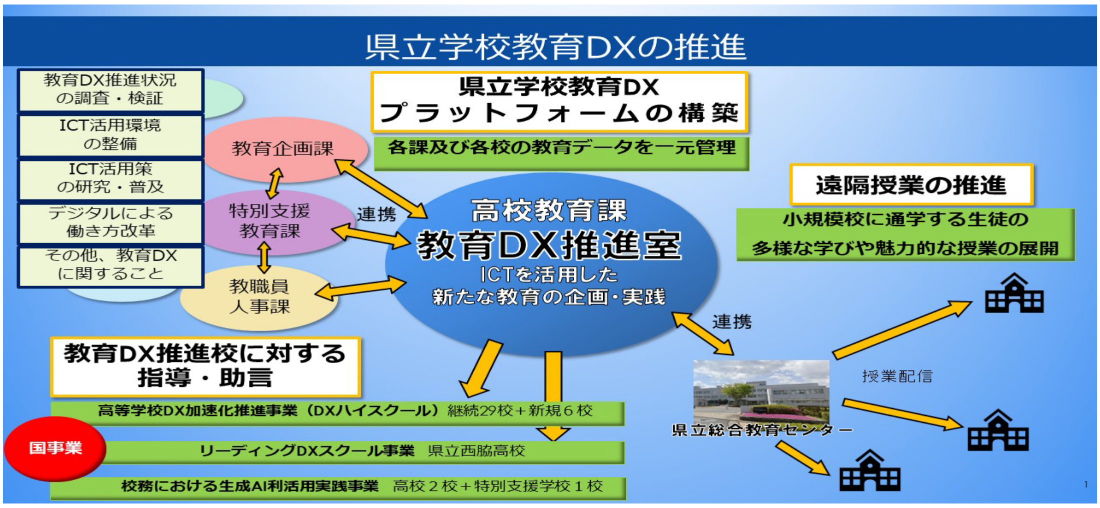
学校教育において、ICT の活用が「日常化」するよう取り組むとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るよう取り組む。

また、校務・業務の効率化等、働きがいのある学校づくりを進めるため、円滑・安全な ICT 環境の整備・充実を図る。

新「教育ＤＸ推進室」の設置

高校教育課内に、「教育ＤＸ推進室」を設置し、教育データの一元化や効果的な活用、ICT を活用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」の全県的な展開を加速化するよう取り組む。

・内　容　県立学校教育ＤＸプラットフォームの構築
　　　　　遠隔授業の推進
　　　　　教育ＤＸ推進校に対する指導・助言　等



1　１人１台端末の活用推進

(1)「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の展開

①　**拡**　高等学校 DX 加速化推進事業（DX ハイスクール）　　284,000 千円(国庫)

高等学校段階における高度なプログラミングや文理横断的な探究学習等を推進するため、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施し、ICT を活用した文理横断的で探究的な学びを強化する学校に対して、高性能コンピュータ等の ICT 機器等の環境整備を行う。

・指定校（継続　26校）

御影、神戸鈴蘭台、北神戸総合、須磨東、星陵、神戸商業、西宮今津、西宮苦楽園、伊丹北、川西緑台、北摂三田、篠山鳳鳴、明石、明石城西、加古川西、東播工業、西脇工業、多可、三木、小野工業、北条、姫路飾西、姫路工業、姫路商業、龍野北、千種

・指定校（新規　６校）

兵庫、鳴尾、柏原、西脇、社、播磨福崎

・取組例

須 磨 東…数理、データサイエンス、生成ＡＩを活用した文理横断的な探究活動を行うための情報機器整備等

加古川西…配信機器・プロジェクター・ホワイトボード壁面を整備し、講義・ワークショップ・オンラインコミュニケーション等の多様な発表の場の展開

②　新　リーディングDXスクール事業　　　　1,000千円（国庫）

学校における教育活動の高度化の実現を図るため、対象校を指定し、BYOD端末のソフトウェアとネットワーク環境や、外部有識者等を活用した授業改善の具体的な事例の創出・モデル化、普及・展開を図る。

・指定校　西脇

・内　容　GIGA環境を活用した教育実践、取組内容の普及等
西脇市内の小・中学校と研究授業や福祉活動等の自治体規模の研究

２　校務改善と教育環境充実に向けたICT環境の整備・充実

(1) ICTを活用した業務効率化の推進

①　拡　公立高等学校等インターネット出願・決済システムの運用　　　　15,350千円

入学者選抜の出願・入学考査料の決済から合格者発表まで一連の事務をシステム化し、令和８年度入試から全校で運用する。

＜システム導入で可能となること（主なもの）＞

志願者	・オンラインでの出願情報の入力、入学考査料のオンライン決済 ・オンラインでの受検票の受取、合否結果の確認　等
中学校	・オンライン上での出願情報の確認 ・出願書類のオンライン上での提出　等
高等学校	・受検者情報の集約 ・合否判定、合否結果の通知　等

②　新　BYOD・一人一台端末を活用した成績処理業務　　　　20,944千円

現行学習指導要領に対応した観点別学習状況の評価や成績処理全般を一元管理できるシステムを導入し、教員の負担軽減を図る。

Ⅷ　修学環境の整備・充実

安心安全を確保しつつ、質の高い学びや快適な学校生活を送る環境の実現をめざす。

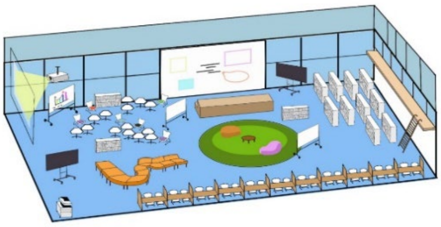
１　安心・安全な教育環境整備の推進

(1) 学校図書館の整備の推進

① 新　学校図書館のラーニングコモンズ化事業　100,000 千円

県立高校５校において学校図書館をベースに主体的・対話的で深い学びを推進するため、協働的な探究活動や自主的な学習活動を行う環境を併設した施設（ラーニング・コモンズ）を整備する。

・対象校　５校
夢野台、伊丹、東播磨、赤穂、浜坂



(2) 産業教育備品整備の推進

① 新　県立学校産業教育設備整備事業（６月補正）　1,000,000 千円（国庫）

職業人として必要とされる知識・技術の高度化に対応する中長期的な観点から、理工系人材等の育成を推進するため、職業学科の状況に応じ実習室等で使用する先端教育用備品を整備する。

・対象校　県立高等学校職業学科等（延べ 46 校）
・導入例

マシニングセンタ（工業）

色彩選別機（農業）

紫外線流水殺菌装置(水産)

CPS 実習ユニットⅡ(看護)

参考資料１

地区別県立高等学校数

（R7年4月1日現在）

区　分	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	合計
全日制単独	21	16	14	15	12	14	8	10	6	4	120
全通併置						1					1
全定併置			1	2	1	1	3	1		1	10
定時制単独	3	2	1	1	1	1					9
通信制単独	1										1
合　計	25	18	16	18	14	17	11	11	6	5	141

※中等教育学校は含まない。

参考資料２

大学科別県立高等学校数・生徒数

（R7年5月1日現在）

学　科　名			全　日　制		定　時　制		通　信　制	
			学校数	生徒数（人）	学校数	生徒数（人）	学校数	生徒数（人）
普　通　科			96	50,683	12	2,643	2	1,941
学際領域に関する学科			10	442	―	―	―	―
地域社会に関する学科			3	148	―	―	―	―
STEAMに関する学科			5	340	―	―	―	―
専門学科	職業に関する専門学科	農業科	10	2,164	―	―	―	―
		工業科	12	5,511	5	784	―	―
		商業科	7	2,231	2	130	―	―
		水産科	1	108	―	―	―	―
		家庭科	5	521	―	―	―	―
		看護科	2	206	―	―	―	―
		福祉科	3	268	―	―	―	―
	特色ある専門学科	理数科	10	1,082	―	―	―	―
		体育科	1	120	―	―	―	―
		音楽科	1	110	―	―	―	―
		美術科	1	120	―	―	―	―
		国際科	5	778	―	―	―	―
		演劇科	1	107	―	―	―	―
		環境防災科	1	119	―	―	―	―
		総合科学科	1	463	―	―	―	―
総合学科			16	8,536	―	―	―	―
合　　計			195	74,057	19	3,557	2	1,941

※　1　専門学科の記載は、「兵庫県立高等学校の通学区域に関する規則」別表第１に記載する学科の記載順による。
　　2　看護科の生徒数には看護専攻科（145人）は含まず

参考資料３

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」における推進状況（H21～R3）

個性を尊重する多様で柔軟な高等学校教育をめざし、学びたいことが学べる魅力ある学校づくりを推進。

	推進項目	取組内容
(1) 魅力ある学校づくりの推進	①全日制普通科単位制高等学校の設置	西宮高校(H23)
	②特色ある専門学科の設置	加古川東高校：理数科(H22) 豊岡高校：理数科(H23) 鳴尾高校：国際文化情報学科(H23) 尼崎小田高校：国際探求学科(H24) 明石北高校：自然科学科(H24) 宝塚北高校：グローバルサイエンス科 (H26) 龍野高校：総合自然科学科(H27) 兵庫高校：創造科学科(H28) 三木高校：国際総合科(H28) 姫路西高校：国際理学科の設置(H30) 小野高校：科学探究科の設置(R2)
	③全日制普通科のコースの設置	総合人間系コース ・兵庫高校(H26) ・尼崎高校(H26) ・北条高校(H28) 自然科学系コース ・川西緑台(H29)
	④職業教育を主とする学科の在り方の検討	「職業教育を主とする学科の在り方検討会」報告(H22) 職業学科充実に向けた計画の検討 篠山産業高校：農業科、工業科、商業科の改編(H30) 飾磨工業高校：工業科の改編(H30) 但馬農業高校：農業科の改編(H30) 武庫荘総合高校：福祉探求科の設置(H30) 氷上：農業科、商業科の改編(H31) 兵庫工業高校：工業科の改編(R2) 洲本実業高校：商業科の改編(R2) 小野高校：商業科の改編(R2) 西脇工業高校：工業科の改編(R2) 上郡高校：農業科の改編(R2) 山崎高校：農業科、家庭科の改編 (R3) 小野工業高校：工業科の改編 (R3) 長田商業高校：商業科の改編 (R4)
	⑤中高一貫教育校の設置	千種高校 →中高一貫教育校に改編(H22) 氷上西高校 →中高一貫教育校に改編(H24)

	推進項目	これまでの取組(H21～R3)
(2) 県立高等学校の望ましい規模と配置	①小規模校の在り方	千種高校【再掲】 家島高校(H20～H21) →特色ある類型「海と科学類型」、「海と人間類型」を設置(H23) 氷上西高校【再掲】 村岡高校：「地域アウトドアスポーツ類型」を設置(H26) （定員の 50%は学区を設定せず募集） 生野高校：「科学探究コース」を「観光・グローバル類型」に改編 (H30)
	②分校の在り方	淡路高校一宮校､洲本実業高校東浦校 →本校に統合(H23) 篠山産業高校東雲校 →篠山東雲高校として独立(H23) 篠山産業高校丹南校募集停止(H26)
	③通学区域の在り方の検討	「兵庫県高等学校通学区域検討委員会」報告(H23) 「新通学区域に係る基本方針」を決定(H24) 「新通学区域に係る公立高等学校入学者選抜の改善について」を決定(H24) 「高等学校奨学資金貸与制度にかかる通学交通費貸与月額上限拡大」を決定(H25) 県立高等学校新通学区域の導入(H27) 「高等学校通学区域検証委員会」報告(H29)
(3) 入学者選抜制度・方法の改善	①複数志願選抜の導入	西宮学区、伊丹学区(H21) 神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区、宝塚学区(H22) 西播学区(H23) 丹有、北但、南但、淡路地域への複数志願選抜の導入(H27) 高等学校通学区域検証委員会の設置(H29)【再掲】
	②特色選抜の導入（普通科）	西宮学区、伊丹学区(H21) 神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区、宝塚学区(H22) 西播、丹有、北但、南但、淡路学区 (H23：全学区に導入)
(4) 定時制・通信制高等学校の活性化と望ましい配置	多部制単位制高等学校の設置	西脇北高校を改編(H21) ・併せて北条高校定時制を募集停止 阪神昆陽高校を新たに設置(H24) ・設置に伴う定時制の再編校 川西高校、川西高校宝塚良元校、 伊丹市立高校（募集停止）(H24)

参考資料４

「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書(R3.3.29 受領)」の概要について

【委員会設置趣旨】

平成 26 年から継続実施されている、「県立高等学校教育改革第二次実施計画」の推進状況の評価・検証を行うとともに、今後の生徒数の動向を考慮しつつ、高等学校教育の更なる充実を図るため、県立高校の望ましい規模と配置のあり方について検討。

【報告書概要】

Ⅰ　県立高等学校教育改革第二次実施計画の評価

○「第二次実施計画」を着実に進めることで、学びたいことが学べる魅力・特色ある学校づくりは推進された。
○主体的に判断・行動し、新たな価値観を創造できる力を育成する教育のあり方を確立していくことが重要となっている。
○多様な価値観を持つ生徒を受入れることのできる教育制度についても整備が必要である。
○学校の規模が小さくなることで、生徒の興味や進路希望に応じた教育課程の編成等が困難になるなどの課題が想定される。

Ⅱ　今後の県立高等学校教育改革の方向性

＜高等学校で育成する力＞

◇思いやりや寛容の心を持ち、人格の形成を主体的に求め続ける力
◇正確に情報を受け取ったうえで自分の考えを論理的に発信できる力
◇他者と協働しながら身の周りの社会的な課題に対応できる力
◇主権者として社会を構成するために必要な社会人基礎力
◇多様な価値観を受け入れたうえで物事を創造できる力
◇自国や地域文化への正しい知識に基づき、国際社会の中で対応できる力
◇困難な状況に接しても、しなやかに対応できる力

＜未来への道を切り拓く力を育成するための方策＞

・すべての教育活動において ICT の活用を推進するとともに、遠隔授業センターの設置等により、学校の規模を問わず個に応じた選択科目等が設置できる手法を全県規模で研究。
・Society5.0 時代において問題解決力や想像力を備えた人材の育成については、兵庫型「STEAM 教育」におけるカリキュラム検討を踏まえた、新たな学びを展開。
・特別な支援を要する生徒や外国籍生徒等については、通級制度や外国人特別枠制度導入校を中心に、より効果的なカリキュラム開発や教育相談との連携を強化。

＜教育システムの充実・改革＞

◇全日制普通科学年制（特色類型・コース）、特色ある専門学科、職業学科

・普通科の特色化を進めるうえで、生徒の興味や必要性に応じた学びの展開が、特に必要である場合には、学年制から単位制への改編を含めて検討。

・普通科の特色ある専門学科への改編や、特色ある専門学科の内容を見直すにあたっては、文理融合による新技術を活用した探究活動を軸とした学科や、地域の教育資源を活用して地域課題の解決に取り組む学びを軸とした学科等の新設を検討。

・コースについては、専門性の高さや生徒の学習ニーズ等を踏まえ、特色類型または専門学科への改編を検討。

・職業学科における、技術革新に対応した学びの充実を目的とした、先端機器等を活用した先進技術の習得を効果的に進めるための教員研修や外部人材の活用等について検討。

◇定時制・通信制

・可能な限り個別最適化された学びを実現するため、ICT による遠隔授業の展開や多彩な学びを提供できる学びのコンテンツ整備等の検討。

＜通学区域・入試制度＞

・基本的には現行制度を維持するべきであるが、県境や学区の境に位置する地域について、選択肢が拡大していない等の課題も指摘されていることから、制度の全体的なあり方を、中長期的に検証。

＜県立高等学校の活力を維持するための望ましい規模と配置のあり方＞

・普通科及び総合学科で６～８学級、職業学科の単独校で３学級以上を望ましい規模として考えていくこと。

・通学できる範囲に高等学校が多く設置されている都市部においては、生徒の学びの多様性を保障するため、発展的統合を含め、望ましい学級規模を維持する方策を検討。

・地方部においては、通学できる範囲に唯一となった高等学校もあることから、望ましい学級規模に満たない高等学校について、地域の支援を得ながら存続可能性の有無を含めて検討。その際、全国募集の拡充、教員の加配、学級編制基準の弾力化、ICT を活用した遠隔授業、スクールバスの開設、寮の設置、高等学校の市町立化を含めて、あらゆる方策を視野に入れて検討。

・総合学科については、望ましい規模に満たない場合は、生徒の興味や必要性に応じた系列の設置が困難であることから、近隣の高等学校との統合による規模の確保が難しい場合には、普通科または職業学科への改編を検討。

・職業学科については、小学科ごとに専門性の高い学びを展開していることを認識したうえで、地域産業の変化に対応できる学科のあり方を、地域の支援を得ながら検討。

・定時制・通信制の規模と配置については、個別のニーズへの対応の必要性を踏まえた、多部制高等学校の新たな設置等の可能性も視野に入れながら、各課程の機能・役割を発揮するためにふさわしい規模と配置のあり方を検討。

参考資料５

「県立高等学校教育改革第三次実施計画(R4.3.策定)」の概要について

第１章　計画の趣旨等

＜計画の趣旨＞

○第３期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画)」及び「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書｣を受け､変化が激しく予測困難な時代を迎える中で､社会の変化に柔軟に対応し､自らの力で新しい社会を切り拓く力を育成できる県立高等学校であり続けられるよう、改革の基本的な考え方と方向性を示す。

＜計画の期間＞

○令和４～12 年度の９年間。このうち、令和４～８年度の５年間を前期期間として取組内容を示す。

〔前期期間：令和 4～8 年度（5 年間)、後期期間：令和 9～12 年度（4 年間)〕

第２章　計画の基本的な考え方

＜高等学校教育を取り巻く環境＞

◇予測困難な変化の激しい時代

・グローバル化の進展　・Society5.0 時代の到来　・ICT や AI 等の高度な情報技術の進歩　・新型コロナウイルス感染症の蔓延　等

◇高等学校教育を取り巻く環境の変化

・選挙権年齢の引き下げ　・成年年齢の引き下げ　・国における普通科改革　等

◇少子化による生徒数の減少

・国公立中学校卒業者数(R3.3)　…　43,129 人〔H 元比 ▲44,239 人〕

・県立全日制高等学校数(R3.3)　…　125 校〔H 元比 ▲　3 校〕

　→　第１学年の平均学級数　【　5.3 学級】

　→　望ましい規模に満たない県立高等学校数　【52／125 校】

＜実施計画における三つの柱＞

◆県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

◆県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置

◆入学者選抜制度・方法の工夫と改善

第３章　県立高等学校の魅力・特色づくりの推進

１　全日制普通科･総合学科

・普通科コースは、普通科新学科または普通科特色類型に改編〔R7 に募集停止〕

・望ましい規模の確保が見込めない総合学科は、普通科特色類型又は専門学科に改編

・普通科新学科（学際領域に関する学科／地域社会に関する学科）を新設

・STEAM に関する学科を新設（STEAM 教育を全学区で推進)

２　専門教育を主とする学科（全日制）

・職業教育に関する学科は、専門分野の重点化や学科改編等を検討

・理数に関する学科、国際に関する学科は、必要に応じて改編を検討

・新たな特色ある学科は、全国でも有数の新たな学びに対して生徒や地域のニーズがある場合は設置を検討

３　中高一貫教育校

・連携型中高一貫教育校は、生徒や地域のニーズ等を踏まえ、新設、連携中学校の拡充又は連携の解消を検討

４　定時制･通信制

・多部制高校は、夜間定時制高校の再編により新設を検討

・通信制高校は、通定併修等の充実に向けて配置のあり方を検討

５　教育内容の工夫と充実〔各校において学びの創意工夫に取り組む際の視点〕

・スクール･ミッション等に基づく魅力･特色づくりの推進

・将来について考え、行動する態度や能力を育む教育の推進

・多様な価値観を認め、主体的に行動できる力を育む教育の推進

・新たな価値観を創造する力を育む教育の推進

第４章　県立高等学校(全日制)の望ましい規模と配置

＜基本的な方向性＞

◇多様で活力ある教育活動を維持するために必要な望ましい規模を、普通科･総合学科で、１学年６～８学級／職業学科の単独校で、１学年３学級以上とし、原則、発展的統合により望ましい規模を確保し、配置を検討

＜具体的な進め方＞

◇発展的統合を行う学校数

令和７年度に７組 16 校

神戸･芦屋地域（２組４校）　阪神地域（１組２校）　北播磨地域（１組３校）
中播磨地域　（３組７校）

令和 10 年度に６組 12 校

阪神地域　（１組２校）　丹有地域　（２組４校）　東播磨地域（１組２校）
中播磨地域　（１組２校）　西播磨地域（１組２校）

◇地域の特性等を踏まえ、発展的統合を行わない望ましい規模に満たない学校については、地域の支援を得ながら存続する可能性、もしくは、新たに発展的統合を行う可能性について、市町教育委員会等と引き続き協議

第５章　入学者選抜制度･方法の工夫と改善

＜基本的な方向性＞

◇本計画期間中は、現行の５学区を維持

◇入学者選抜制度全体のあり方については、前期期間または計画期間の満了時において、必要な見直しを検討するため、教育関係者等による検討組織を設置

＜具体的な取組＞

◇２月入試と３月入試の定員の割合、選抜方法の見直しの検討

◇普通科新学科及び STEAM 学科の選抜方法の検討

◇隣接区域の新たな設定の必要性の検討

◇職業教育を主とする学科の選抜方法の改善方策の検討

◇第５学区の進学連携校方式のあり方の検討

◇多部制単位制高等学校の部間の募集定員の割合等の見直しの検討

◇外国人生徒にかかわる特別枠選抜の検証

「県立高等学校教育改革第三次実施計画」における推進状況

第３期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」を踏まえ、変化が激しく予測困難な時代を迎える中で、社会の変化に柔軟に対応し、自らの力で新しい社会を切り拓く力を育成できる県立高等学校であり続けられるよう、高等学校教育改革を推進。

<table>
<tr><th></th><th>推進項目</th><th>学区</th><th>取組内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">県立高等学校の魅力・特色づくりの推進</td><td rowspan="5">普通科新学科
STEAM に関する学科</td><td>第１学区</td><td>御影：学際領域に関する学科（R6）
神戸鈴蘭台：学際領域に関する学科（R7）
津名：学際領域に関する学科（R7）
淡路三原：学際に関する学科（R7）
神戸学園都市：学際領域に関する学科（R7）</td></tr>
<tr><td>第２学区</td><td>柏原：地域社会に関する学科（R6）
篠山鳳鳴：STEAM に関する学科（R6）
川西緑台：学際領域に関する学科（R7）
尼崎：地域社会に関する学科（R7）
西宮苦楽園：学際領域に関する学科（R7）</td></tr>
<tr><td>第３学区</td><td>明石：STEAM に関する学科（R6）
明石城西：学際領域に関する学科（R7）
北条： STEAM に関する学科（R7）</td></tr>
<tr><td>第４学区</td><td>姫路飾西：STEAM に関する学科（R6）
姫路海稜：地域社会に関する学科（R7）
播磨福崎：学際領域に関する学科（R7）</td></tr>
<tr><td>第５学区</td><td>八鹿：学際領域に関する学科（R6）
豊岡：STEAM に関する学科（R6）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置</td><td colspan="2">①第１学区
（神戸・芦屋地域、淡路地域）</td><td>北神戸総合（神戸北・神戸甲北）（R7）
神戸学園都市（伊川谷・伊川谷北）（R7）</td></tr>
<tr><td colspan="2">②第２学区
（阪神地域、丹有地域）</td><td>西宮苦楽園（西宮北・西宮甲山）（R7）</td></tr>
<tr><td colspan="2">③第３学区
（東播磨地域、北播磨地域）</td><td>三木総合（三木北・三木東・吉川）（R7）</td></tr>
<tr><td colspan="2">④第４学区
（中播磨地域、西播磨地域）</td><td>姫路海稜（姫路南・網干・家島）（R7）
播磨福崎（福崎・夢前）（R7）</td></tr>
<tr><td colspan="2">⑤第５学区
（但馬地域）</td><td></td></tr>
</table>